

辺野古側における施工対策について

平成29年12月

沖縄防衛局

○辺野古側における施工対策について

- ・辺野古側海域において、工事の安全な実施のため、図-2に示すとおり、施行区域の境界を明示するためのフロート及びアンカーを設置する予定。
- ・事前調査の結果、アンカーの設置予定箇所においては、サンゴ被度5%以上の分布域、長径1m以上の大型サンゴ群体、レッドリストサンゴ及び高被度の海藻草類の分布域は確認されなかったが、アンカーの設置に当たっては、サンゴ類及び海藻草類を可能な限り避け、また、台風時には、必要に応じフロートを撤去することで、環境への影響を最小限にとどめる予定。なお、具体的な設置位置及び設置状況について、次回委員会にて報告。

表-1 アンカー概要

寸法	鋼製アンカー			ダウンフォースアンカー
	60cm×60cm ×31cm	50cm×50cm ×30cm	50cm×50cm ×29cm	—
重量	870kg	600kg	560kg	30kg
設置数	36個	8個	7個	28個



図-1 設置状況 (イメージ)

※事業の安全かつ円滑な工事を実施する観点から、表示していません。

図-2 調査位置

表-2 調査内容

項目	調査内容
サンゴ類	<ul style="list-style-type: none"> ・総被度(5%以上の場合は、主な出現種を記録) ・長径1m以上の大型群体や群落は個別に計測し、位置を記録。 ・レッドリスト記載種(15種)及びトゲサンゴ属等(4種)は群体毎に計測し、位置を記録。
海藻草類	<ul style="list-style-type: none"> ・総被度(海藻類と海草類を分けて記録)
底質	<ul style="list-style-type: none"> ・底質の種類



図-3 海底状況写真